

平成16年第3回
美唄市議会臨時会会議録
平成16年10月27日(水曜日)
午後3時41分 開議

◎議事日程

第1 会議録署名議員の指名

第2 所信表明に対する質疑

.....

追加第1号

第1 会期中の休会日の変更の件

◎出席議員(20名)

議長	中西	勇夫	君
副議長	吉田	栄	君
1番	吉岡	文子	君
2番	広島	雄偉	君
3番	五十嵐	聡	君
4番	白木	優志	君
6番	福庄	計夫	君
7番	土井	敏興	君
8番	谷内	八重子	君
9番	長谷川	吉春	君
10番	米田	良克	君
12番	矢部	正義	君
13番	谷村	孝一	君
14番	川本	政芳	君
15番	内馬場	克康	君
16番	本郷	幸治	君
18番	紫藤	政則	君
19番	荘司	光雄	君
20番	林	国夫	君
22番	長岡	正勝	君

◎欠席議員(2名)

5番	小関	勝教	君
11番	古関	充康	君

◎出席説明員

市長	桜井	道夫	君
収入役	伊藤	順一	君
総務部長	板東	知文	君
市民部長	三谷	純一	君
保健福祉部長兼福祉事務所長			

	安田	昌彰	君
経済部長	天野	修二	君
建設部長	酒巻	進	君
水道部長	加藤	誠	君
市立美唄病院事務局長			

	堀川	泰雄	君
消防長	佐藤	賢治	君
総務部総務課長	奥山	隆司	君
総務部総務課総務係長	阿部	良雄	君

教育委員会委員長	藤井	忠一	君
教育委員会教育長	村上	忠雄	君
教育委員会教育部長	吉田	譲	君

選挙管理委員会委員長

熊野	宗男	君
----	----	---

選挙管理委員会事務局長

稲村	秀樹	君
----	----	---

農業委員会会長	西舘	隆志	君
農業委員会事務局長	秋場	勝義	君

監査委員	佐藤	昭雄	君
監査事務局長	遠藤	等	君

◎事務局職員出席者

事務局 長 谷 津 敬 一 君
次 長 和 田 友 子 君
総務係 長 濱 砂 邦 昭 君

午後3時41分 開議

●議長中西勇夫君 これより本日の会議を開きます。

●議長中西勇夫君 日程の第1、会議録署名議員を指名いたします。

12番 矢部正義君

13番 谷村孝一君

を指名いたします。

●議長中西勇夫君 お諮りいたします。

本日の会議時間は、議事の都合によりあらかじめこれを延長いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議時間は延長することに決定いたしました。

日程に入る前に、一言議長から申し上げたいと思います。

昨日の議事進行発言に対して、議事整理に時間を要したことにより、本日の本会議の開会がおくれたことに対し、議長として議員各位に深くおわび申し上げるとともに、今後議会対応に当たってこのようなことが生じないよう努力してまいりたいと思いますので、特段のご理解を賜りたいと思います。

●議長中西勇夫君 日程に入ります。

日程の第2、所信表明に対する質疑に入ります。

私から一言申し上げます。

この際、議事整理を行った結果、市長に対して申し上げます。

質疑に対する答弁につきましては、誠心誠意適切な対応をされるよう申し上げます。

なお、この場合、市長に発言を求めます。

市長。

●市長桜井道夫君 ただいま議長からありましたこのことにつきましては、深く受けとめ、答弁に当たっては誠心誠意お答えさせていただきます。

昨日の紫藤議員の質疑における私の答弁については、言葉足らずで説明に適切さを欠いた部分がありましたので、おわびするとともに、改めてお答えさせていただきます。

勸奨退職の取り扱いにつきましては、国家公務員の場合には、紫藤議員からお話がありましたとおり、「国家公務員退職手当法の運用方針」により、退職の主たる理由が選挙に立候補するためのものであることが明らかである場合には勸奨退職として取り扱わないとされております。

本市の場合は、北海道市町村職員退職手当組合の条例に基づき退職金が支給されることとなりますが、勸奨退職の取り扱いについては、「美唄市職員勸奨退職取扱要綱」に基づき一定の要件が満たされた場合、いわゆる肩たたきというのではなく、本人が届け出をし、市長が承認した場合は勸奨退職として取り扱ってきているものでございます。

私は、昨年7月に市役所を退職することを

決め、勸奨取扱要綱の手続きにより所定の届け出を行い、任命権者である市長から勸奨退職の承認をいただいたところでございます。その後、自分の第2の人生について家族や友人等に相談をしておりましたが、本年2月に市長選挙に立候補することを決意したところでございます。

経過としては、以上のとおりでございますが、私としましては市長に就任し、改めて国の勸奨退職の取り扱いや市の厳しい財政状況などを踏まえたとき、市長として道義的な責任を強く感じていることから、このことに対するけじめとしまして、勸奨相当額について今後の報酬や手当を減額することにより対応することとし、12月定例会を目途に必要な条例改正を提案してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

●議長中西勇夫君 次に、質疑に移ります。

22番長岡正勝君。

●22番長岡正勝君（登壇） 平成16年第3回臨時会に当たり、市長の所信表明に対し質疑をさせていただきます。

本会議ではありますが、このたびの新潟県中越地震で被害に遭われた方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

さて、道内景気は先日の日銀支店長会議で横ばい圏内の動きとの報告があり、回復に向かうか、再び下降線をたどるのかの踊り場と見るべきで、油断はできないとありました。市内の中心商店街も廃業が相次ぎ、空き店舗が目立っています。最近は特に、店舗を壊し空き地にしてしまう傾向が強く、まさに歯抜けの状態であり、空き店舗の利用もままならぬところであります。さらに、大型店の動向

を見ますと、生協店舗の郊外への移転、岩見沢大和地区ポスフルの11月オープン、イオン三笠ショッピングセンター、来年4月のオープンに向けての工事着工、これは24時間営業と聞いております。商店街が受ける影響ははかり知れないものがあります。

そこで、私は3つの柱のうち「生き活きた街づくり」についてお尋ねいたします。

まず第1に、中心市街地の活性化についてであります。現在商店街では「花夢 in 美唄」の花いっぱい運動やシルバー事業のB I B A愛カード、カードホルダーは3,500名を超えているようです。空き店舗対策では、中国人留学生による中国家庭の味「松花江」、情報交流館としての「ピパ！」などのさまざまな事業を展開しているところでありますが、これらの事業の継続はいかがでしょうか。さらに、活性化について、市長のお考えがあればお聞かせください。

次に、国道12号線沿いに「食」にこだわった「道の駅」についてお尋ねいたします。平成13年8月に美唄市中心市街地活性化基本計画策定委員会が設置され、14年3月には報告書が提出されています。もてなしとくつろぎのまちの駅によるにぎわいの形成と中心部を位置づけけていますが、市長の「道の駅」はこれに沿うものなののでしょうか、また別の考えなののでしょうかお聞かせください。

次に、公共事業についてお尋ねいたします。公共事業は、事業量の減少に伴い、地元発注もままならぬ状況下にあると思います。所信表明にある公共事業の厳選とは、どのようなことを意味しているのでしょうか。また、その確保について、いかなる方法でなされよう

としているのか、具体的にお示してください。

最後に、大規模食糧備蓄基地についてお尋ねいたします。玄米で10万トン、167万俵の備蓄で事業費は220億円とする構想ですが、これと同じ考えなのでしょうか。現在の認識と事業への取り組み状況をお聞かせください。

また、文言の一部ではありますが、従来、美唄市大規模冷温食糧備蓄基地構想とありますが、市長の所信には冷温の部分が入っていませんが、これは別の構想なのでしょうかお尋ねいたします。

●議長中西勇夫君 市長。

●市長桜井道夫君（登壇） 長岡議員の質疑にお答えします。

初めに、中心市街地の活性化についてであります。これまで商工会議所などが中心となって花いっぱい運動やシルバーカードによるサービス事業などを進め一定の効果を上げており、市としてもこれらを支援してまいりました。現在は、商工会議所、商店会などによる「まちづくり実行委員会」における専修短期大学や文化団体などの協力を得ながら賑わい創出事業を実施しており、引き続き内容を検討しながら活性化に向けた事業に取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、賑わい創出事業や空き店舗の情報などを広く発信し、コスモス通を活用した文化・地域イベントなど、多様な事業に取り組める支援体制について、商工会議所や商店会とともに検討を進めてまいりたいと考えております。

次に、「道の駅」についてであります。私はこれまで築いてきた交流拠点施設などの本市の交流基盤や地域資源をさらに有効に活

用するため、市内で最も交通量の多い国道沿いに休憩施設とあわせた情報発信のための施設が必要であると考えております。この施設は、私たちの生活に密接にかかわる「食」と「健康」にこだわり、本市の農業、商業、観光スポットなどのPRをするとともに、単に国道を通過するのではなく、さらに市内のさまざまな場所に立ち寄ってもらい、美唄の魅力を感じてもらうことが目的であります。このため、どの場所に設置するかは重要なポイントでありますので、最も立ち寄りやすく、目的を達成するために効果的な場所を念頭に慎重に選定していきたいと考えております。

次に、公共事業についてであります。国の行財政改革においては、公共事業の削減の方向が示されており、本市においては雇用の確保等地域経済に与える影響が大変大きいことから、市民の視点に立った社会資本の整備と、それに要する財源の確保に可能な限り努めてまいりたいと考えております。

また、市の財政が厳しい中で国、道の事業確保についても積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、大規模食糧備蓄基地の取り組み状況と現状認識についてであります。本構想を推進するため、「美唄市大規模冷温食糧備蓄基地構想推進協議会」を中心として、全道組織の「北海道大規模長期食糧備蓄基地推進協議会」と連携を図りながら、国や道に対して食糧備蓄基地の必要性を訴えるとともに、立地促進などの要望を行ってまいりました。

次に、現状認識についてであります。世界的な食糧不足が懸念される中、食糧自給率の低い我が国においては、備蓄による食糧の

安定的な確保、緊急時などの不測の事態の安定供給など、本構想の推進は重要な役割を果たすものであると考えております。

次に、冷温についてであります。地域特性をいかし、雪を利用した米の貯蔵施設は有効な手段であると考えておりますので、今後におきましても引き続き本構想を基本として積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

●議長中西勇夫君 次に移ります。

19番 庄司光雄君。

●19番 庄司光雄君 議事進行について、先に議長に取り計らいをお願いしたいことがありますので、そのことについて発言させていただきますが、先ほど時間延長いただきました。

しかし、私を含めて6名の発言通告が議運の資料によりますとあるわけですが、これは私といたしましても、次の5名のことを考えながら発言をしなければいけないという環境に置かれているわけですが、私としてはせっかくの桜井市長の所信表明でございますので、それなりの問題意識を持ってきているつもりなので、十分な質疑が整うような環境にぜひ議長の取り計らいをお願いをしたい。

したがって、できるならば本日の発言はもう、会議時間は4時で終わりですから、その時間に来ているわけでございますので、その辺のことを考慮して、ぜひ環境準備をしていただければと、こういうふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

●議長中西勇夫君 ただいまの庄司議員の議事進行発言の議事整理のため暫時休憩いたします。

午後3時57分 休憩

午後4時37分 開議

●議長中西勇夫君 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより議事日程追加第1号に入ります。

日程の第1、会期中の休会日の変更の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、11月9日までと議決され、うち10月28日は休会となっておりますが、議事の都合により10月28日は本会議を開会することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、議事の都合により10月28日は本会議を開会することに決定いたしました。

●議長中西勇夫君 お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、さよう決定いたします。

本日はこれをもって延会いたします。

午後4時38分 延会

